

ソーシャルワークと心理学

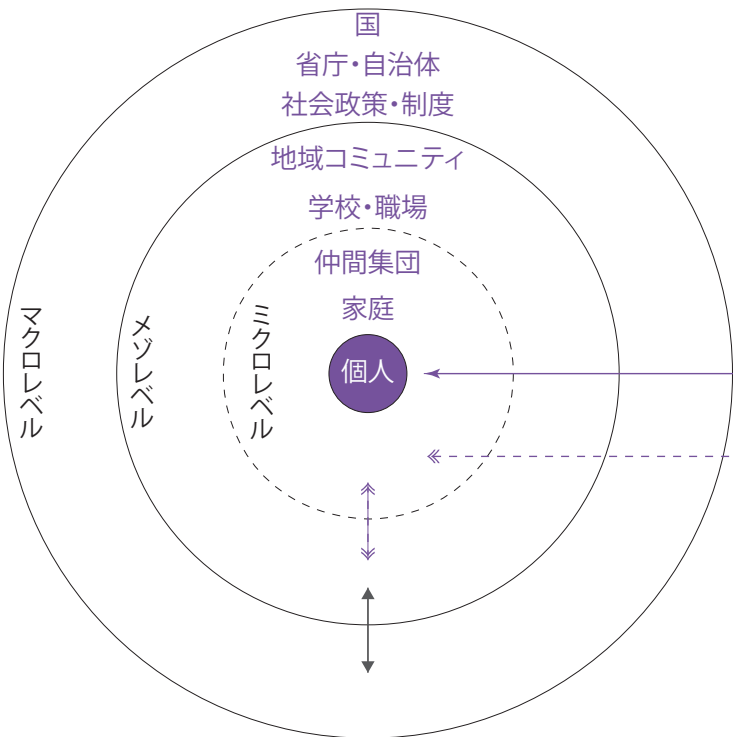


ソーシャルワークは「人と環境、そしてそれぞれが相互作用する接点に働きかける」ことが活動の中心です。だから、学習を進める中で身につくソーシャルなスキルは、社会の様々な場面で役立ちます。

心理学とソーシャルワークの関係は深く、主としてマイクロレベルでの活動に学問的・理論的な根拠を与え、特に人と関わる際の具体的な知識とスキルを提供しています。松山東雲女子大学は、国家試験合格に留まらない裾野の広い心理学の科目を用意し、奥行きのあるリキュラムを用意しています。

ソーシャルワークのレベル

ソーシャルワークでは関わる対象のレベル(水準)を、個人を中心とした最小単位のマイクロレベル、国や自治体などのマクロレベル、そして両者の中間であるメソレベルに分類します。



実線の分野は、主として個人単位に焦点をあて、心の仕組みや行動のメカニズム解明が中心となります。

点線の分野は個人だけでなく、他者や集団など個人をとりまく環境の影響や相互関係にもアプローチします。

心理学の分野

認知心理学

我々の心の働きを、情報処理の観点から解明しようとする分野です。現代心理学の基礎を担っています。

発達心理学

人間が成長する際の、様々な質的变化を発達といいます。子どもから大人まで、各年代の特性を紐解く分野です。

学習心理学

心理学の「学習」とは、我々が新たな行動を獲得することを言います。このメカニズムを解明し、役立てる分野です。

臨床心理学

カウンセリングをはじめ、個人から集団まで、心理学的援助の理論と具体的な方法を研究・実践する分野です。

家族心理学

家族関係を対象として、親子・夫婦など、様々な家族関係への援助や健全な発達を研究・実践する分野です。

社会心理学

我々は他者や集団から色々な影響を受けます。「社会」の中にいる個人の心のメカニズムを研究する分野です。



これらは代表的な心理学の分野で、設置している心理学系科目の一部です。松山東雲女子大学では、他にも心理学分野の様々な科目を設置しています。

社会福祉士の心理学

心理学は社会福祉士国家試験の中で「心理学と心理的支援」として個人の理解とその支援に関する内容を担っています。

社会福祉士養成過程の全体像



厚生労働省「(別添)見直し後の社会福祉士養成課程の全体像」(<https://www.mhlw.go.jp/content/000604998.pdf>)を元に作成。

「心理学と心理的支援」の内容

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>心理学の視点</p> <p>心理学の歴史と対象 心を探求する方法の発展</p> | <p>人の心の基本的な仕組みと機能</p> <p>心の生物学的基盤 感情・動機づけ・欲求 感覚・知覚 学習・行動 認知 個人差 人と環境</p> | <p>人の心の発達過程</p> <p>生涯発達 心の発達の基盤</p> | <p>日常生活と心の健康</p> <p>心の不適応 健康生成論</p> | <p>心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本</p> <p>心理アセスメント 心理的支援の基本的技法 心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要 心理の専門職</p> |
|---|---|--|--|--|